

いわき農林水産ニュース

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース

平成29年 4月号 発行 4月26日

目次

- ・「JA福島さくらねぎ部会」知事賞を受賞……………p.1
- ・いわき地方防霜対策本部設置……………p.2
- ・遠野高校にいわき産スギ利用カタログラック設置……………p.2
- ・森林保全巡視員に委嘱状交付……………p.3
- ・佐藤吉行さん、家族経営協定を締結……………p.4
- ・花き鉢物の春期庭先研修会実施……………p.5
- ・リンドウ栽培指導会（3月）開催……………p.5
- ・6次化商品紹介……………p.6
- 〔お知らせ〕
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果……………p.7
- ・山菜の出荷制限の取扱いについて……………p.8
- ・いわき農林事務所転入者一覧……………p.9
- ・新規採用職員の一とこと……………p.10

「JA福島さくらいわきねぎ部会」知事賞を受賞

3月27日（月）、福島市の杉妻会館において、平成28年度豊かなむらづくり顕彰事業優秀団体表彰式が行われました。

35回目を迎える本事業は、福島県と福島民友社が主催し、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な業績を収め、本県の農業・農村の発展に寄与した団体等を表彰するものです。

今回受賞したJA福島さくらいわきねぎ部会は、長年、伝統ある地域特産の「いわきねぎ」の生産部会として生産の維持・拡大を図ってきました。近年では、6次化商品も開発・販売するなど更に活動の幅を広げています。

今回の受賞を機に、いわき地域の農業を牽引していくことが期待されています。（企画部）



（知事賞贈呈の様子）



（知事との記念撮影）

左から、副部会長の新妻勝栄氏、部会長の小宅廣氏、内堀知事、福島民友の五阿弥社長、副部会長の鈴木剛氏、JAさくら営農指導員の吉田氏

JA福島さくらいわきねぎ部会について

地域の貴重なブランドである「いわきねぎ」を次世代につなげようという強い使命感のもと、新品種や新技術に関する情報共有や、栽培技術の優れた生産者がアグリマイスターとして部会員の栽培指導を行うなど栽培技術の向上に努めています。また、いわきねぎのさらなるPRのため、いわきねぎを使った「ねぎドレッシング」等の6次化商品を開発・販売するなど、その取組は地域の模範的な活動となっています。

いわき地方防霜対策本部設置

4月1日（土）、いわき地方防霜対策本部を設置しました。設置に先立ち3月29日（水）にいわき地方農業災害対策会議を開催し、霜注意報の伝達、被害発生時の情報収集方法など関係機関・団体の連携体制を確認しました。

いわき地方で最も霜被害に遭いやすい日本なしについては、4月中旬が開花盛と見込まれるため、防霜資材の準備や草刈りによる地温上昇、かん水による保温等の対策の周知を図るとともに、水稻や野菜・花き類の適切な育苗管理など、遅霜による農産物被害の未然防止対策を確認しました。

今年も実りの多い年となるよう、防霜対策並びに農業気象災害に当たってまいります。

（農業振興普及部）



（防霜対策本部の看板を設置）

右：森口所長、左：和田山部長



（農業災害対策会議の様子）

遠野高校にいわき産スギ利用カタログラック設置

平成28年度新「ほっと」スペース創出事業により、遠野町の県立遠野高等学校に、いわき市産スギを使用したカタログラックを設置しました。

この事業は、いわき市産の木材の利用推進を図るため、間伐材等を利用した木製品を地域住民団体や高等学校などと連携して作成し、地域の公共施設に設置する取組で、森林環境税を活用しています。

今回は、遠野高等学校から校舎内で使用するカタログラック、ベンチ、ゴミ箱、プランターカバーの作成に取り組みたいと要望を受け、事業を実施しました。

遠野高等学校の厚生委員会が、放課後の時間を利用して製品を製作し、完成した製品を校舎内の図書室やホールに設置しました。

厚生委員会の生徒達は、製品の種類やデザインを考えることから、製品完成までの作業行程を楽しみながら実施し、木材の特徴である木の感触や香りを感じていたようです。

利用する生徒たちにも、厚生委員会が製作した木製品により、木材の良さを感じながら大切に使用し

てもらうことを期待します。

(森林林業部)



(生徒による木製品製作状況)



(カタログラック設置状況)

森林保全巡視員に委嘱状交付

4月3日(月)、県いわき合同庁舎において、森林保全巡視員委嘱状交付式を執り行い、森口いわき農林事務所長より9名の方に委嘱状を交付しました。続いて、いわき地方森林パトロール協議会を開催し、効率のよい巡視業務となるよう関係機関との連絡調整の強化と情報交換を行っていくこととしました。

これからの時期、多くの方が森林に入り自然を楽しむ機会が増えてきます。森林の豊かな恵みをいつまでも受けられるよう、森林保全巡視員には今後1年間、いわき地方の保安林や県営林において、森林内の気象害や病虫害の発見、無許可の伐採や開発行為の発見といった巡視活動とともに、入山者に対する山火事防止の啓発活動をしていただくこととしています。

(森林林業部)

委嘱状の交付を受けた森林保全巡視員

氏名	巡視区域
熊谷 達也 氏	大久、久ノ浜、平
馬上 喜好 氏	四倉
駒木根 武夫 氏	川前(小白井、上桶売)
永山 正一 氏	川前(川前、下桶売)
松本 栄 氏	小川
赤塚 信一 氏	好間、内郷、常磐
平子 美穂子 氏	遠野
松崎 正一郎 氏	三和
内山 清光 氏	小名浜、勿来、田人



(森林保全巡視員委嘱状交付式の様子)

佐藤吉行さん、家族経営協定を締結

3月23日（木）、いわき農林事務所及びいわき市の立ち会いのもと、家族経営協定（以下、協定）が締結されました。これにより、いわき市内における協定締結数は20件となりました。

新たに協定を締結されたのは、認定農業者として地域の農業を担っている遠野町の佐藤吉行さんとその御家族です。きっかけは後継者である耕土さんの就農でした。これまで吉行さん夫婦が営農活動を行っていましたが、園芸部門を耕土さんが担う考えであったことから、家族間での役割分担を明確にするため、話し合いの場を持ちながら協定を締結する運びとなりました。

吉行さんからは「協定の締結をきっかけに、お互いレベルアップしていきたい」と前向きなお話をいただきました。

農林事務所では、今後も認定農業者や女性農業者、新規就農者等を中心に、協定の周知や協定締結に向けた支援を行ってまいります。

（農業振興普及部）



（協定書署名の様子）



（締結後の様子）

家族経営協定について

農業経営に参画する個人の地位及び役割を明確化し、その意欲と能力を十分に発揮できるようにするため、経営の方針や家族一人ひとりの役割、働きやすい環境づくりなどについて家族みんなの話し合いにより決めるルールです（「農林水産関係用語集」より）。家族での農業経営は、就業条件が曖昧になりやすく、不満やストレスが生まれがちです。そこで、家族内できちんと話し合い、役割分担や就業規則を取り決めることによって、合理的でスムーズな経営が可能となります。また、青年就農給付金事業などの事業・制度の要件となっています。家族全員にとって魅力的でやりがいのある農業経営をするためにも、家族経営協定の締結を考えてみてはいかがでしょうか。詳しくは、いわき農林事務所農業振興普及部へお問い合わせください。

花き鉢物の春季庭先研修会実施

3月23日（木）、いわき花き鉢物研究会が、いわき市内の平窪の鉢物生産者3戸のほ場の視察研修を行いました。当日は、会員12名が参加しました。

この研修会は、生産者のほ場を視察しながら、春出し・母の日出荷に向けた栽培管理状況について生産者、市場関係者で意見交換を行うため毎年3月に実施しています。会員12名はそれぞれ各自の管理状況と照らし合わせながら、現在のトレンド品目の把握や需要期出荷に向けた今後の取組について意見交換を行いました。特に、母の日出荷に向けたカーネーションの管理方法について活発な意見が出されました。

農林事務所では、今後とも安定した需要期出荷に向けた支援を行ってまいります。

（農業振興普及部）



（生産者ほ場の視察の様子）



（意見交換の様子）

リンドウ栽培指導会(3月)開催

3月16日（木）、JAによる栽培指導会が川前リンドウ生産部会員を対象に開催されました。前日に降雪があったため、当日は生産者、JA職員及び農林事務所職員ら9名で雪の下になっているリンドウほ場を囲みながら、3月の管理内容とポイントについて確認を行いました。

農林事務所からは、マルチ切除や追肥、ほ場内の各所確認などについて栽培資料を用いて説明を行いました。また、全員が初めての栽培であることから、作業進捗の確認シートを配布しました。寒い中でしたが、参加者全員に真剣に話を聞いていただきました。

今回は1戸のほ場での実施となりましたが、今後は毎月の指導会を実施するとともに参加者全員で全戸巡回をしながら、早期の技術習得とレベルアップを進め、初出荷につなげてまいります。

（農業振興普及部）



(管理内容を説明する様子)



(雪を掘って追肥方法を確認する様子)

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」に 掲載された6次化商品をご紹介します！



(株)いわきチョコレートでは、「ふくしま」の魅力が詰まった様々な商品を販売しています。今回ご紹介するのは、いわき市の魚「めひかり」をモチーフにした「めひかり塩チョコ」、フルーツとチョコを融合した「紅玉林檜チョコ」です。このほか、巨峰のレーズンを1粒そのまま使用した「巨峰醇菓」、滑らかな舌触りを生かした「紅玉醇菓」など、「ふくしま」にこだわった商品を作っており、(株)いわきチョコレート本店、ら・ら・ミュウ、ハワイアンズ、オンラインショップでもお買い求めいただけます。是非ご賞味ください。

お問い合わせ

株式会社 いわきチョコレート
 いわき市小名浜寺廻町 16-6 TEL.0246-53-5265
 営業時間 / 9:00 ~ 18:00 定休日 / 毎週火曜日
 HP/<https://www.shiochoco.com/>

めひかり塩チョコ

内容量 / 10 個 ・ 希望小売価格 / 1,200 円 (税抜)



メヒカリの形のチョコレート。中に塩キャラメルがとろり、粒塩の三位一体のチョコ。

紅玉林檜チョコ

内容量 / 16 個 ・ 希望小売価格 / 1,500 円 (税抜)



紅玉林檜の美味しい果汁のジュレを、バターチョコでコーティング。

“ふくしま地域産業6次化新商品カタログ”は「ふくしま6次化情報STATION (<http://6jika.com/>)」に掲載されていますので、是非ご覧下さい。

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果

□ 農林畜産物の検査結果

平成29年3月にいわき地方で福島県が行った農林畜産物の放射性物質モニタリング検査では、検査した7品目20検体すべてにおいて、放射性セシウムが検査機器の検出限界値以下でした。内訳は（表）のとおりです。

（企画部）

（表）1点も放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数

菌床しいたけ（施設）5、菌床なめこ（施設）2、ふきのとう（野生）1、エリンギ（施設）1、菌床うすひらたけ（施設）1、牛肉6、原乳4

□ 海産魚介類の検査結果

福島県沖（全県）で採取された海産魚介類から放射性セシウムが検出される割合は、時間の経過とともに着実に低下しています。平成29年3月の水産物モニタリング検査では、722検体の魚介類を検査し、放射性セシウムの基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。

海産魚介類では平成27年4月以降、全県で基準値を超えたものはありません。平成28年5月以降、モニタリング検査で放射性セシウムの検出限界値未満（以下、ND）の割合が95%を超え、平成29年3月はND割合が96.2%となっています。

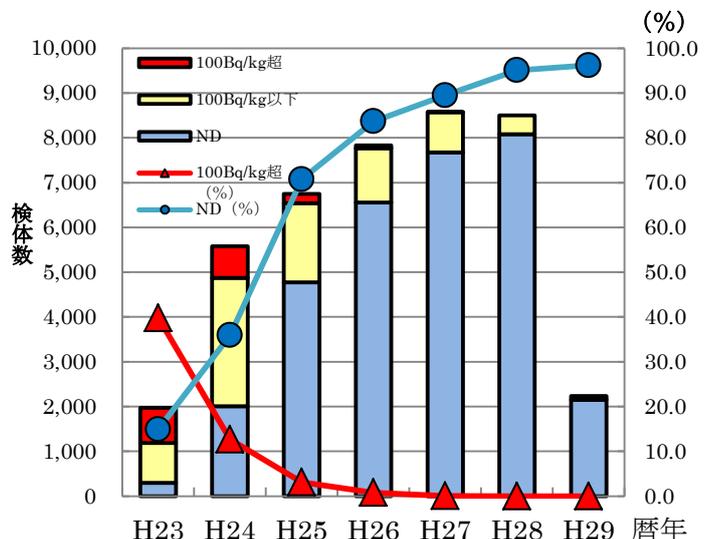
（水産事務所）

（表・グラフ）平成23年以降のモニタリング検体数と放射性セシウム検出の割合

（採取月日で集計（全県データ））

年		100Bq/kg超	100Bq/kg以下	不検出	計
H23	検体数	785	893	294	1,972
	割合 (%)	39.8	45.3	14.9	100.0
H24	検体数	921	2,372	2,287	5,580
	割合 (%)	16.5	42.5	41.0	100.0
H25	検体数	280	2,147	5,214	7,641
	割合 (%)	3.7	28.1	68.2	100.0
H26	検体数	75	1,387	7,260	8,722
	割合 (%)	0.9	15.9	83.2	100.0
H27	検体数	4	896	7,677	8,577
	割合 (%)	0.05	10.4	89.5	100.0
H28	検体数	0	420	8,082	8,502
	割合 (%)	0.00	4.9	95.1	100.0
H29	検体数	0	85	2,150	2,235
	割合 (%)	0.00	3.8	96.2	100.0

H29.3.31現在

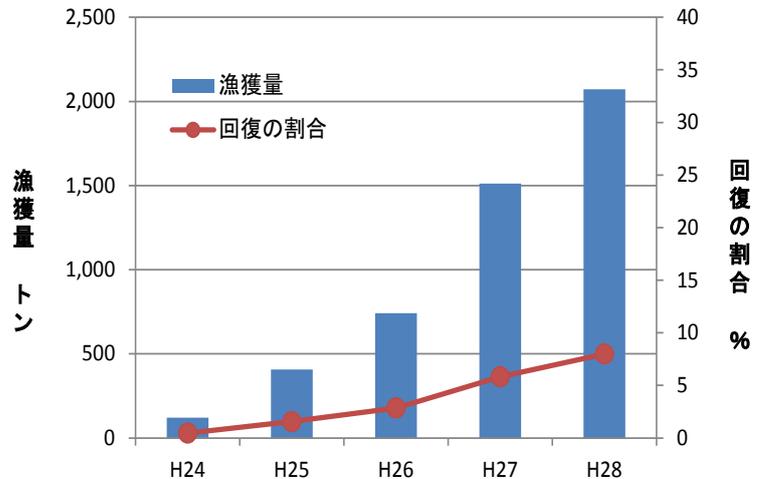


□ 試験操業の状況

2月28日に開催された県下漁業協同組合長会議において、平成28年度試験操業の総括が行われ、2年間に渡り放射性セシウムの基準値(100Bq/kg)超えがなかったこと、16種の出荷制限対象種が解除され、残り12種になったこと、漁獲量(1～12月)が2,100ト(前年比139%)まで増加したことなどが報告されました。

(水産事務所)

(図) 試験操業における漁獲量の推移



山菜の出荷制限の取扱いについて

現在、山菜の発生・採取の時期となりましたが、採取者や直売所担当者の皆様におかれましては、次の点に留意するようお願いいたします。

- 1 現在、いわき市産の山菜のうち、出荷が制限等されている品目は(表)のとおりです。

これらの品目は地域全体としての安全性が確認されていないことから、出荷制限等は今シーズンも継続しています。

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により「基準値以下」であっても出荷・販売はできません。

- 2 出荷制限等品目以外の山菜について、県では市町村単位で緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しており、この結果は、新聞や県のHP「ふくしま新発売。」などで公表されています。

(森林林業部)

(表) いわき市産山菜の出荷制限等品目

制限、自粛別	山菜の品目
出荷制限	たけのこ、たらのめ(野生)、ぜんまい、わらび、こしあぶら
出荷自粛	さんしょう(野生)

※なお、市町村毎に出荷制限品目等が定められているので、県のHP (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>) または森林林業部まで確認してください。

いわき農林事務所 転入者一覧

平成29年4月1日付け人事異動により、いわき農林事務所へ着任した職員を紹介いたします。

	職 名	名 前	旧 所 属
総務部	次長兼総務部長	滝口 勝利	郡山光風学園
	専門技術管理員	須田 勝彦	南会津農林事務所
	主査（総務課キャップ）	志賀 麻恵	小名浜港湾建設事務所
企画部	部長	岡部 広承	南会津農林事務所
	地域農林企画課長	松本 洋伸	県中児童相談所
	地域農林企画課 主任主査	上野 純一	いわき建設事務所
	地域農林企画課 主査	鈴木 忠弘	農業総合センター会津地域研究所
	地域農林企画課 主事	国分 郁実	<新採用>
農業振興普及部	副部長	本多 巖	生産流通総室
	地域農業推進課長	越後 学	県中農林事務所
	農業振興課 技師	山口 智弘	農業総合センター農業短期大学校
	地域農業推進課 技師	本田 和幸	県中農林事務所須賀川農業普及所
	地域農業推進課 技師	乗田 和志	<新採用>
農村整備部	農村整備課長	半谷 祥二	農村整備総室
	農村整備課 主査	小針 真之	農林水産総室
	管理課 主事	本田 隆祐	いわき地方振興局
	農村整備課 技師	小池 優歩	<新採用>
森林林業部	副部長	吉田 好幸	会津農林事務所
	森林土木課長	星 辰也	南会津農林事務所
	森林土木課 主任主査	猪狩 省二	県南農林事務所
	森林土木課 技師	遠藤 普子	<新採用>

よろしくお願いたします！

新規採用職員のひとこと

平成29年4月1日付けで新たに採用された4名に、いわきの印象や今後の抱負を聞いてみました。

企画部 地域農林企画課

主事 こくぶんいくみ
国分郁実

今年度企画部に配属となりました国分郁実です。いわき農林水産ニュースの編集をはじめ、事務所の広報担当として活動していきます。初めていわきで生活することとなりましたが、いわきには豊富な特産品と、それらをフルに活用した6次化商品がたくさんあることを知り、広報担当としての意気込みがいっそう高まっています。いわきの農林業を大いにPRできるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域農業推進課技師の乗田和志です。作物（水稻・麦・大豆）の普及指導に関すること、農業機械・農業安全に関すること、施設教育（短大、磐城農業高校）に関することなどを担当していきます。いわきは、海あり、山あり、畑あり、田んぼあり…ということで、おいしい食材が豊富な印象です。農業分野に携わるのは初めてですので、大きなスポンジになった気分でたくさんのごことを吸収していきたいと思っております！よろしくお願いいたします！

農業振興普及部 地域農業推進課

技師 のりたかずし
乗田和志

農村整備部 農村整備課

技師 こいけゆうほ
小池優歩

農村整備部技師の小池優歩です。私は、栃木県出身のため、最初いわきに来たときは不安でいっぱいでした。しかしいわき農林事務所の雰囲気はとても明るく、皆さん優しく安心してました。本当にいわきに来ることができてよかったと感じました。最後になりますが、趣味は映画鑑賞と釣り、絵を描くことです。もしよかったら気軽に話しかけていただけると嬉しいです。これからよろしくお願いいたします。

森林林業部に配属となりました遠藤普子です。治山事業や保安林に関する仕事を担当させていただきます。いわきは“山”よりも“海”という印象が強かったのですが、震災等による山地や海岸林への被害を現場で目の当たりにし、林業職員としての責任感が芽生え始めたところです。郡山市で育ち、大学時代は新潟で過ごしていたので、いわきの地理に関してまだまだ未熟者ですが、社会人1年目のスタート地点として、精一杯努めていきたいと思っております。

森林林業部 森林土木課

技師 えんどうひろこ
遠藤普子

いわき農林事務所は、昨年度に引き続き、
このキャッチフレーズを掲げて活動していきます！



いわき農林事務所では、昨年度に引き続き、今年度もこのキャッチフレーズ「サンシャインいわき！
笑顔あふれる農林業をめざして！！」を掲げて取り組んでまいります。

このキャッチフレーズには、「燦々と降り注ぐいわきの太陽の光のように、農林業に携わるすべての
人に、一日でも早く真の笑顔があふれるよう、所員が一丸となってスピード感と緊張感を持って目に見
える成果を求めていく」という思いを込めています。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース